

令和2年度 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク
第1回全体会議次第

日 時 令和2年9月29日(火)
午後3時～
場 所 飯塚市役所本庁2階
多目的ホール

1 開会

- (1) 開会のあいさつ
- (2) 事務局からの連絡

2 会長、副会長の選出

3 協議

- (1) 自立支援ネットワークの活動
 - ① 専門部会（在宅医療ケア部会）
 - ② 専門部会（相談支援部会）
 - ③ 就労支援分野
- (2) 飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センター等運営事業
令和元年度相談支援事業の報告及び令和2年度計画
 - ① 基幹相談支援センター
 - ② 相談支援機能強化事業
- (3) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について
- (4) その他の提案
- (5) 意見交換

4 閉会

飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワークの
活動について

専門部会（在宅医療ケア会）活動報告書

部会名	在宅医療ケア部会（課題解決型）
目的	医療ケアを必要としている障がい児者とそのご家族が地域で安心して暮らしていくために、医療・福祉・教育・行政等が各支援分野の垣根を越えた取り組みを行うことで、社会資源の有効活用や開発（特に宿泊を伴うレスパイトの場の充実）を図る。
構成員領域	医療機関（医師・SW）／訪問看護ステーション／児童発達支援事業所／保健師（県・市町）／障がい者福祉担当職員／障がい者基幹相談支援センター職員 ※検討課題に応じて、新たな支援機関に参加を呼びかける
設置期間	上記課題の解決を以て終了とする（その後はネットワーク型として設置を検討）
開催頻度	1回／2ヶ月（必要に応じて臨時開催有り）
活動報告	<p>【令和元年度】</p> <p>■第5回在宅医療ケア部会 【開催日】 令和元年12月17日 【参加者】 部会委員9名、事務局8名 【内 容】</p> <p>◎研修企画部門：1月に開催予定の小児在宅医療定例研修会のアナウンス 「胃瘦栄養におけるミキサー食の有用性と消化器の味覚センサーについて」</p> <p>◎連携ツール開発部門：サポートファイルの活用方法について</p> <p>◎災害対策部門：①飯塚市防災安全課との意見交換（R1.10.21）の報告 ②災害時個別避難計画書の活用方法について</p> <p>■第6回在宅医療ケア部会 【開催日】 令和2年2月20日 【参加者】 部会委員9名、事務局7名 【内 容】</p> <p>◎研修企画部門：3月に開催予定の小児在宅医療定例研修会のアナウンス 「①飯塚病院の取り組みについて②ポジショニングについてGW」</p> <p>◎連携ツール開発部門：サポートファイルのHP掲載方法について</p> <p>◎災害対策部門：災害時個別避難計画書のHP掲載方法について</p> <p>※来年度の部会について検討</p> <p>⇒医療ケア児だけの課題に取り組むのではなく子どもに関わる関係機関との連携作り、課題の共有の場に展開していく方針とする。</p>

専門部会（相談支援部会）活動報告書

部会名	相談支援部会（ネットワーク型）
目的	飯塚圏域における相談支援体制において、障がい児者の自立や権利擁護を重視した一般相談・計画相談が実現するよう、相談支援専門員のスキルアップやネットワーク構築を目的に設置するものとする。
構成員領域	指定特定相談支援事業所の相談支援専門員／行政職員／障がい者基幹相談支援センター職員
設置期間	設置期間に定め無し
開催頻度	1回／2ヶ月（第3金曜日 午後）
活動報告	<p>【令和元年度】</p> <p>■第5回相談支援部会 【開催日】令和元年12月20日 【参加者】19名（相談支援専門員19名） 【内 容】「相談支援業務に関する意見交換」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて意見交換 ・モニタリング加算に関する様式等提示 <p>■第6回相談支援部会 【開催日】令和2年2月21日 【参加者】34名（相談支援専門員31名、行政職員3名） 【内 容】「在学中の就労暫定支給（行政説明）と意見交換」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政説明（在学中の暫定支給決定について） ・意見交換（今年度の振り返りと来年度の取り組みについて） <p>【令和2年度】</p> <p>■第1回相談支援部会 【開催日】令和2年4月17日 【参加者】0名 【内 容】「相談支援部会について」 →コロナウィルス感染拡大防止のため中止</p> <p>■第2回相談支援部会 【開催日】令和2年6月19日 【参加者】31名（相談支援専門員28名、行政職員3名） 【内 容】「相談支援部会について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政担当者／新しい相談支援事業所の紹介 ・相談支援部会、協議会に関する説明・質疑応答 ・防災研修に関する資料配布

	<p>■第3回相談支援部会 【開催日】令和2年8月21日 【参加者】0名 【内 容】「事業所意見交換会（共同生活援助事業）」 →コロナウィルス感染拡大防止のため中止</p>
<p>今後の活動 (案)</p>	<p>■第4回相談支援部会 【開催日】令和2年10月16日（金）15：00～ 【参加者】相談支援専門員 【内容】「研修」</p> <p>■第5回相談支援部会 【開催日】12月18日（金）15：00～ 【参加者】相談支援専門員／行政 【内容】「多職種との意見交換」</p> <p>■第6回相談支援部会 【開催日】2月19日（金）15：00～ 【参加者】相談支援専門員／行政 【内容】「来年度の活動について」</p>
<p>企画会議</p>	<p>【開催頻度】1回／2ヶ月（今年度は5・7・9・11月、令和3年1月・3月での開催） 【場所】基幹相談支援センター 【参加者】企画委員（4名）＋基幹センター（2名） 【内容】翌月以降の部会において、どのような形で実施するか検討や圏域内の相談支援体制における意見交換等</p>

就労支援分野活動報告

就労ネットワーク活動報告

- | | | |
|----|------------|------|
| 4月 | 年度計画予定 | (中止) |
| 5月 | 事例検討 | (中止) |
| 6月 | テレワークについて | (中止) |
| 7月 | 就労アセスメント説明 | (開催) |
| 8月 | 事例検討 | (中止) |
- 4月～6月・8月コロナウイルス感染拡大のため中止。

その他活動報告

1) 就労系福祉サービス事業所関係機関合同意見交換会

「気軽に声のかけあえる地域をめざして」

開催日：令和元年12月6日(金)

場 所：立岩交流センター

参加者：就労系福祉サービス事業所(A型・B型・移行事業所・定着支援事業所)
ハローワーク・学校関係・相談事業所・2市1町担当者・基幹センター

内容

①「働く支援について」A型とB型の立場から事業所の担当者より話題提供。

- ・A型・B型事業所での取り組み。
- ・A型・B型から就職に繋げる支援を行った事例について報告。

②グループワーク

- ・B型事業所・相談事業所・学校・行政・・・4グループ
- ・A型・移行・ハローワーク・相談事業所・学校・行政・・・2グループ

グループワークから出た意見

他の事業所も同じ課題を抱えていることが理解でき参加して良かった。

学校での就労支援について話が聴けたこと。

A型・B型の利用者で、一般企業に就職が可能な方もいるため、事業所側としても様々な道を考えていく支援が必要なのでは？

2) 事業所見学会

コロナ感染拡大のため中止。

飯塚市・嘉麻市・桂川町
障がい者基幹相談支援センター等運営事業
令和元年度実施報告

令和2年9月29日
飯塚圏域障がい者自立支援ネットワーク
令和2年度 第1回全体会議

障がい者基幹相談支援センターの業務内容と人員体制

(1) 主な業務内容

地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

①総合的・専門的な相談支援の実施

障がいの種別や各種ニーズに対応する

- ・総合的な相談支援の実施
- ・専門的な相談支援の実施

③地域移行・地域定着の促進の取組

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係る調整

②地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者への専門的指導、助言
- ・相談支援事業者への人材育成
- ・相談機関との連携強化の取組

④権利擁護・虐待の防止

- ・成年後見制度利用支援事業
- ・虐待防止（兼・虐待防止センター）

(2) 人員体制

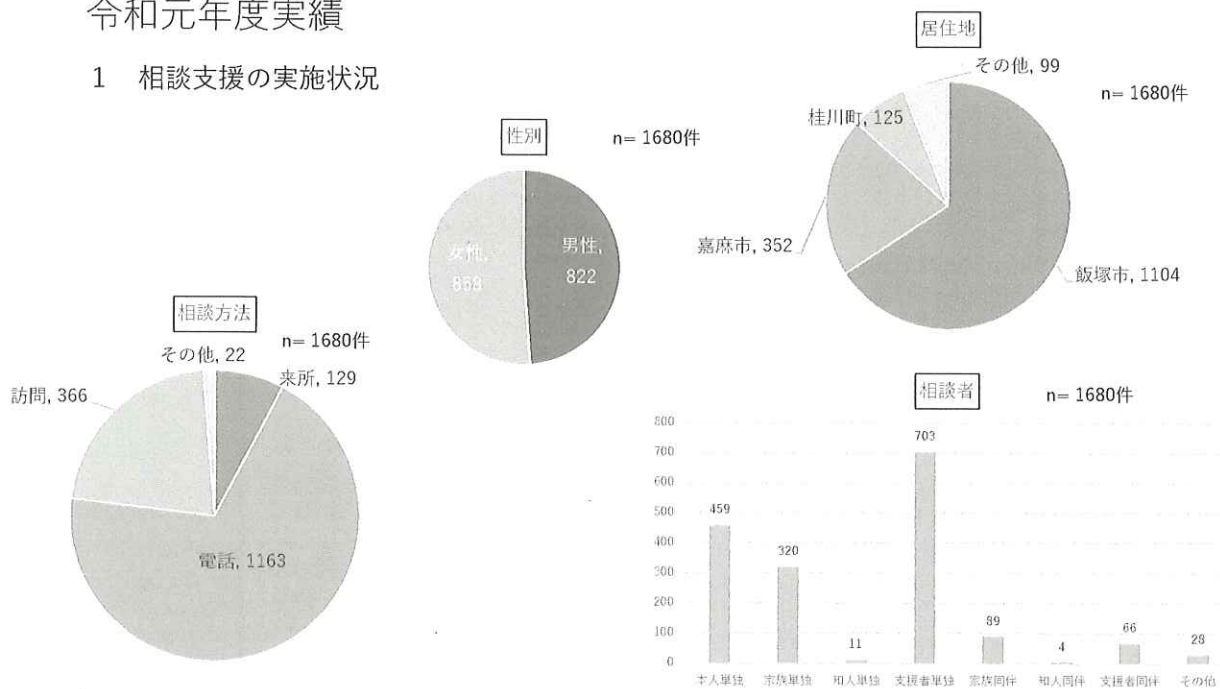
- ・常駐の専門的職員を配置
- ・業務責任者として、常勤職員のうち1名をセンター長とする
- ・常勤職員は概ね週40時間（月20日）の勤務
- ・非常勤職員は週25時間以上（月13日程度）の勤務
- ・非常勤職員の指定相談支援事業所または地域活動支援センター事業所との兼務は業務に支障がない範囲で可能とする
- ・専門的職員は相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士または保健師等の資格を有し、障がい者等の相談支援業務に関し5年以上の実務経験を有する者を配置する

職員配置状況	
常勤	5名
非常勤	3名

専門的資格の取得状況（重複）			
相談支援専門員	8名	社会福祉士	4名
精神保健福祉士	4名	作業療法士	1名
介護支援専門員	2名	保育士	1名
介護福祉士	4名		

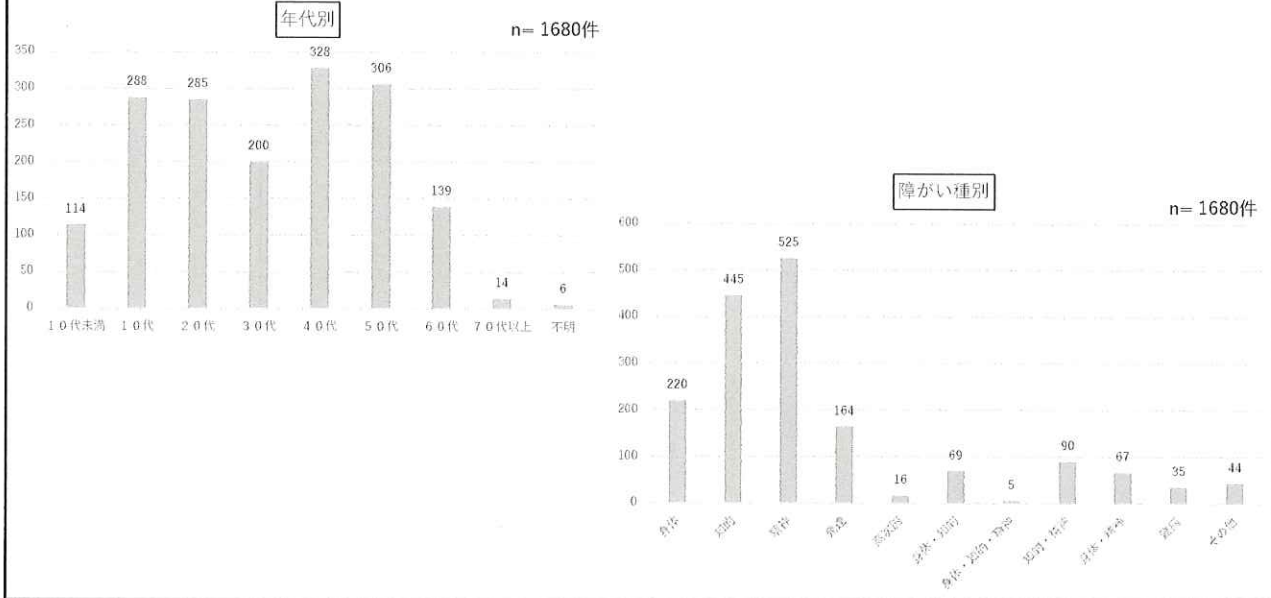
令和元年度実績

1 相談支援の実施状況



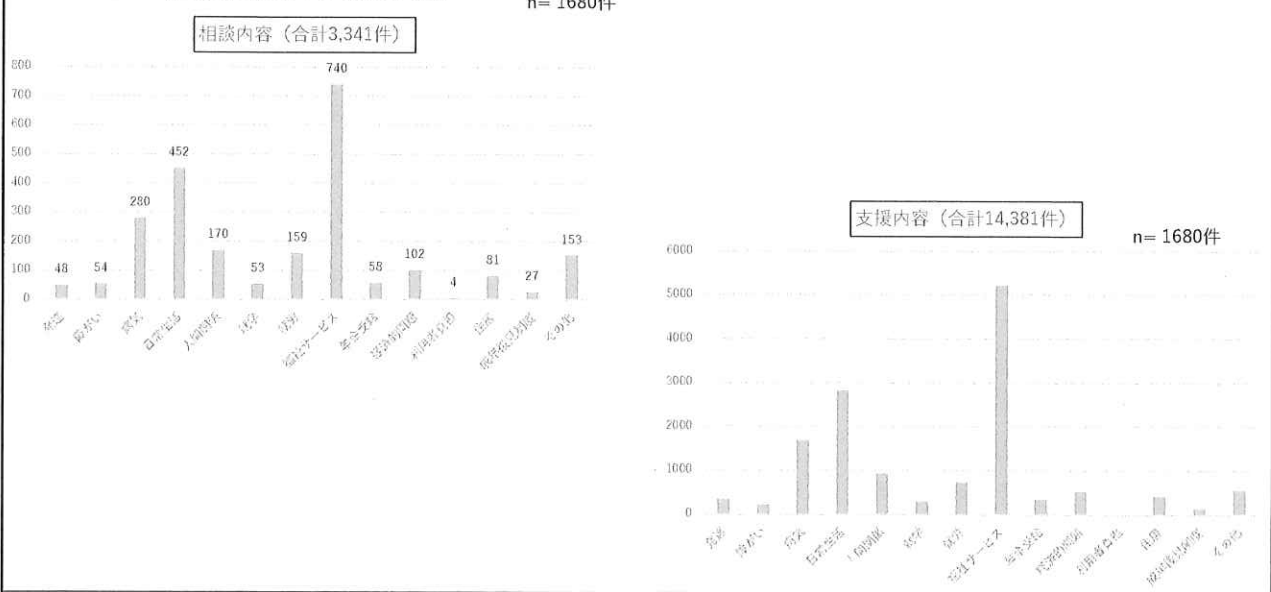
令和元年度実績

1 相談支援の実施状況



令和元年度実績

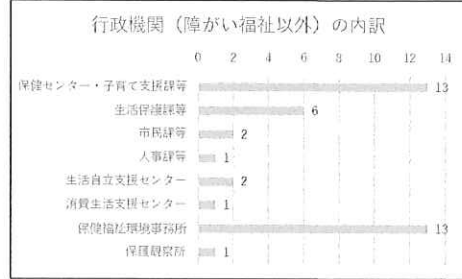
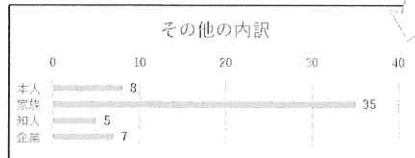
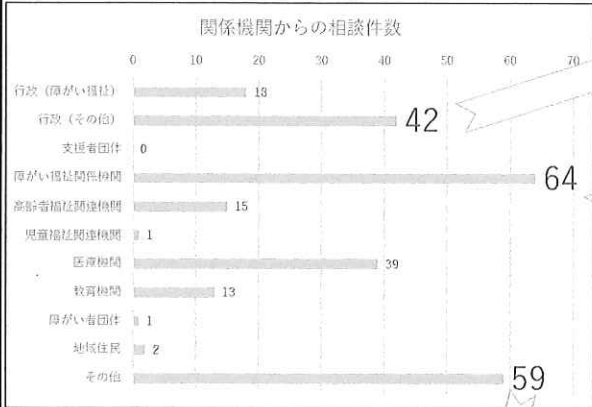
1 相談支援の実施状況



令和元年度実績

2 関係機関からの相談等

n=254件



令和元年度実績

- 3 基幹相談支援センター会議 月2回開催
- 4 飯塚圏域自立支援ネットワークの活動内容

会議名	開催状況	特記事項	
全体会議	年1～2回	11月18日	
運営事務局会議	毎月第2水曜日		
専門部会	相談支援部会	部会 偶数月第3金曜日	
	部会	企画会議 奇数月第3金曜日	
	在宅医療ケア部会	部会 奇数月	
	・研修部門	年3～4回	4月26日相談支援部会と合同で防災研修実施
	・ツール部門	毎月1回程度	
	・災害部門	毎月1回程度	

令和元年度実績

5 その他の活動

分野		開催状況	内容
就労支援	就労ネットワーク会議	毎月1回	就労移行事業所のネットワーク作り
	事業所見学会	9月26日	社会福祉法人愛光会の事業所見学と意見交換
	就労系事業所等合同意見交換会	12月6日	就労系事業所2ヶ所から発表と意見交換
	就労移行支援事業所説明会	1月20日	暫定支給の取り扱いについて説明と意見交換
精神保健	精神保健福祉関係者会議	毎月1回	精神保健福祉分野の連携と地域課題について
相談支援	ネットワークふくおか筑豊地区定例会	7月29日	各圏域の取り組みについて意見交換
特別支援教育	卒業後の進路について (直轄地区基幹センターと合同開催)	8月22日	事業の紹介と意見交換
権利擁護	権利擁護研修	10月17日	「その人らしい生き方とは？障がいのある方の権利について考える」講師：古川啓介氏
地域啓発	障がい者理解啓発講演会	中止 ※	「星に語りて」映画上映
研修関係	障がい福祉従事者等スタートアップ研修	①7月24日 ②10月30日 ③1月23日 ④中止 ※	①手帳と障がい福祉サービスについて ②社会保障制度（生活保護と障害年金）について ③権利擁護について（虐待防止法含む）について
	ごえんの会講演会	12月3日	「引きこもり支援について」福岡県立大学：四戸先生

※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和元年度実績

6 地域啓発・講師派遣など

5月	飯塚市民生児童委員総会	10月	地域包括ケア5ブロック会議 在宅医療ケア部会災害部門の報告
6月	福岡県医療的ケア児等コーディネーター研修		福岡県障がい者虐待防止研修
	福岡県相談支援従事者初任者研修		アポロ法人内研修子どもの権利擁護と意思決定
8月	福岡県相談支援従事者初任者研修		障がい者虐待防止研修（セルフちくほ実習生）
9月	嘉麻市民生児童委員説明会	11月	嘉徳東高校定時制教員向け障がい福祉研修
	障がい者虐待防止研修（セルフちくほ実習生）		福岡県相談支援従事者現任者研修
	飯塚市保健センター実習生講義		福岡県障がい者虐待防止研修
	福岡県相談支援従事者初任者研修		アポロ法人内研修子どもの権利擁護と意思決定
	福岡県医療的ケア児等コーディネーター研修	12月	九州地区相談支援専門員合同研修会

令和元年度実績

6 研修・委員会活動等の参加実績

月	活動内容	月	活動内容
5月	重症児の家族が育児を楽しめるための支援機器体験会	8月	みんなちがってみんなイイ！
	いずみ会総会		ふれあいHANDゲーム依存研修会
	筑豊小児医会勉強会		療育等支援事業講演会「思春期頃の発達障がい児の支援について」
6月	ネットワークふくおか総会	9月	直轄地区自立支援協議会研修会～障がいのある子どもに伝える性
	子どもを地域で支える会筑豊講演会		飯塚市集団指導（相談支援）
7月	福岡県福祉サービス事業者集団指導（相談支援）		知的障がい者施設協会相談部会
	地域包括ケア5ブロック会議報告会		一歩の会
	ひきこもり支援関係者研修会	10月	自殺未遂者支援研修会
	飯塚市内地域包括支援センター社会福祉部会		一般企業の防災訓練セミナー
	嘉麻市発達支援連携協議会		難病の研修会
	一歩の会		福岡県障がい者虐待防止研修
	うすい地区地域ケア会議		ごえんの会勉強会（精神科医療との連携）
	精神障がい者地域包括ケアシステムについて		

令和元年度実績

6 研修・委員会活動等の参加実績

月	活動内容	月	活動内容
11月	福岡県知的障がい者福祉協会相談部会	1月	医療保護入院者退院支援委員会への地域援助事業者等参加促進事業講演会
	かかりつけ医連携事業「誰も自殺に追い込まれることのない地域を目指して」		福岡県ひきこもり支援者等ネットワーク会議
	児童虐待防止講演会		直轄地区拠点整備等事業準備会～八女地区すいれん見学
	直轄地区就労支援セミナー		ネットワークふくおか世話人会
	テレワークシステムの研修会	2月	福岡県相談支援従事者専門別コース（人材育成）
	金子氏報告会～関西の動向～		ネットワークふくおか福岡ブロック研修会「障がい児が地域で生活するための地域づくり」
	「精神病院のない社会」上映会&講演会		3団体合同研修会
	アクションフォーラム		こども研修会
	精神障がい者自立支援関係機関会議		ネットワークふくおか世話人会
12月	嘉麻市自殺対策協議会		福岡県自立支援協議会
	小児在宅医療多職種研修会		飯塚市就学指導委員会
	主任相談支援専門員養成研修		筑豊地区地域自立支援機関連携会議
	療育等支援事業研修会「発達障がいとゲーム・ネット依存との関係」		みるみるみえる・人の暮らしと依存症

相談支援機能強化事業

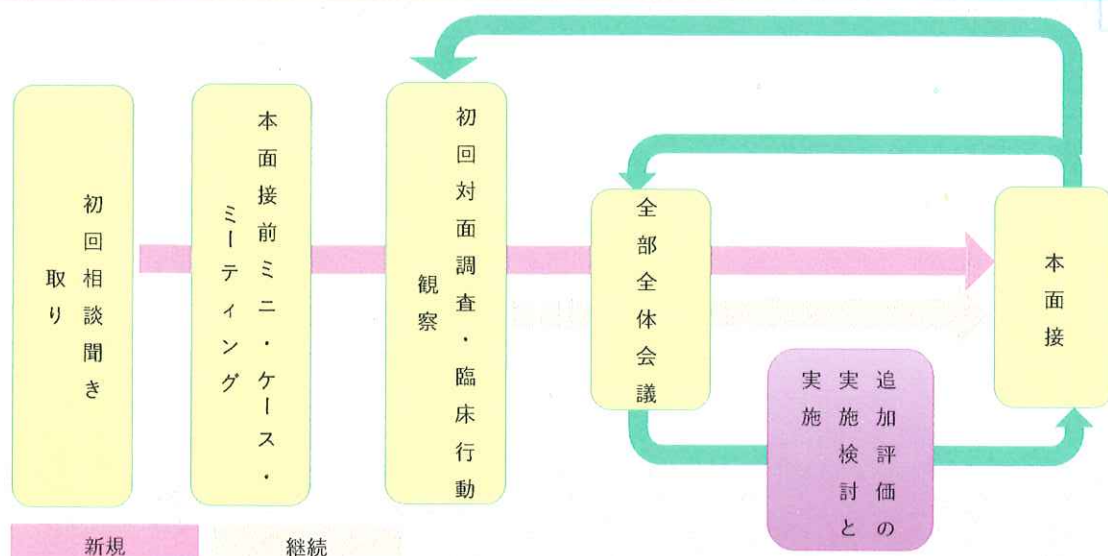
-2019年度実施報告-

特定非営利活動法人ピース

児童発達支援センター
ミーティアス

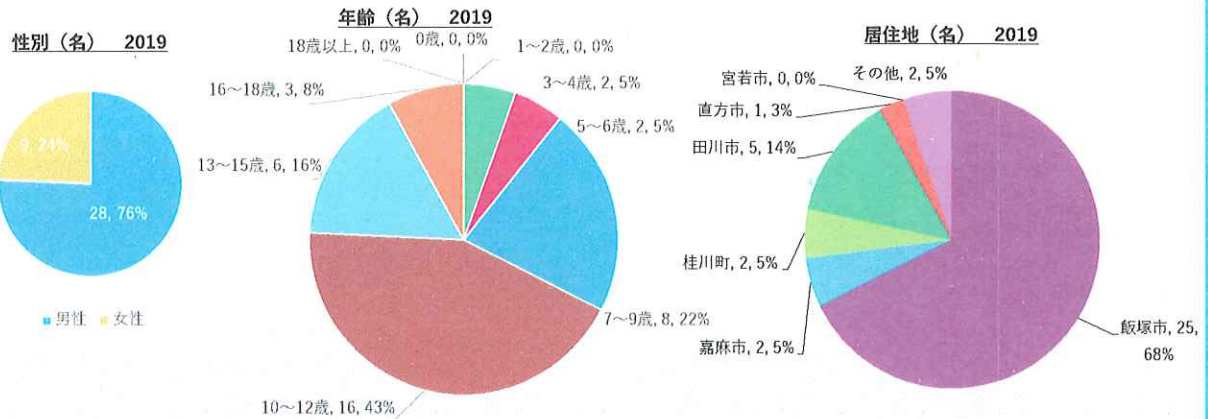
生活相談センター フォスク
相談支援専門員 弥永由津

相談支援機能強化事業の取り組み（標準的な流れ：パス）



2019年度の実施報告 (性別・年齢・居住地)

- ・延べ件数：84件 利用者数：37名
- ・1名あたりの平均利用件数：2.3件 (最小1件、最多6件)
- ・利用者の性別：男児28名、女児9名
- ・利用者の年齢的特徴：7～12歳(小学生)で過半数(24名、65%)を占める



2019年度の実施報告 (月別利用件数)

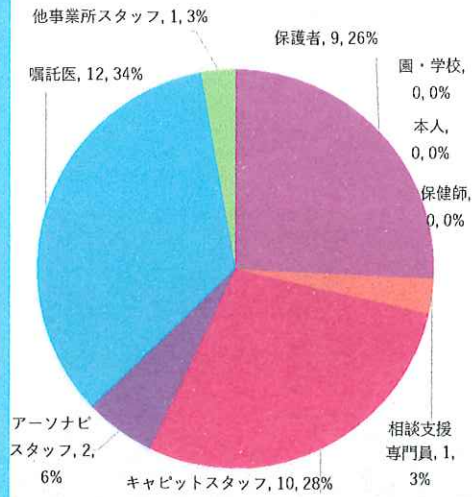
- ・月平均：7件 5月が最多16件 次に4月・6月12件



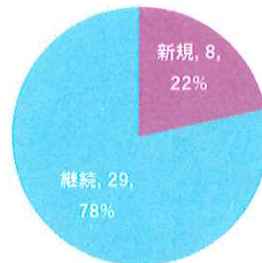
2019年度の実施報告 (受付分類・発信元)

気づき・発信元(継続) (名)

*重複あり 2019

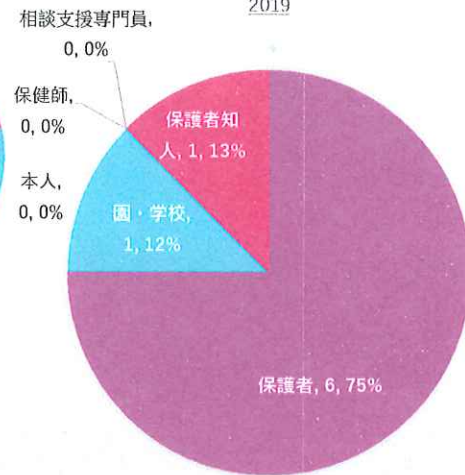


受付分類(名) 2019



気づき・発信元(新規) (名)

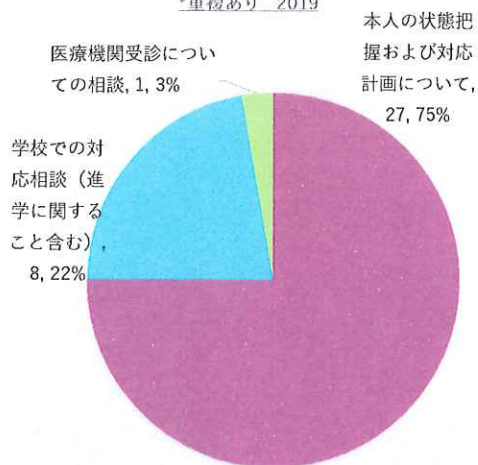
2019



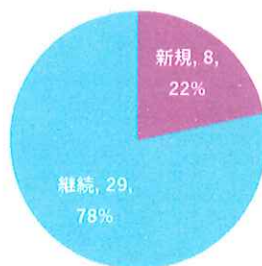
2019年度の実施報告 (受付分類・内訳)

内訳(継続) (名)

*重複あり 2019

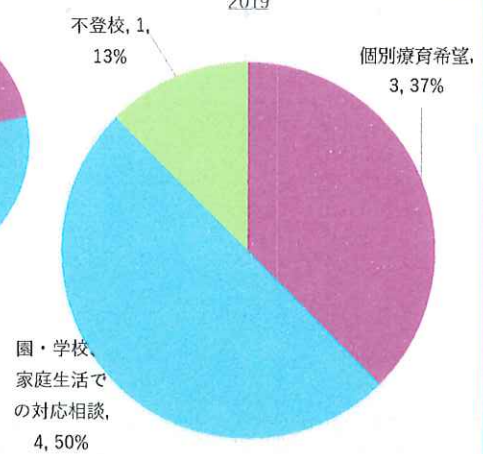


受付分類(名) 2019



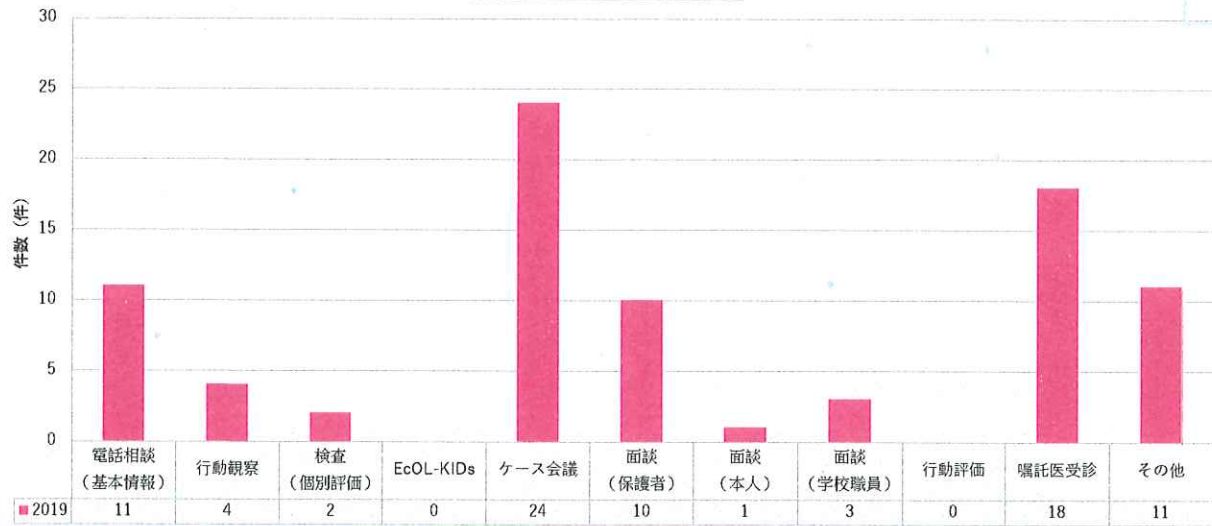
内訳(新規) (名)

2019



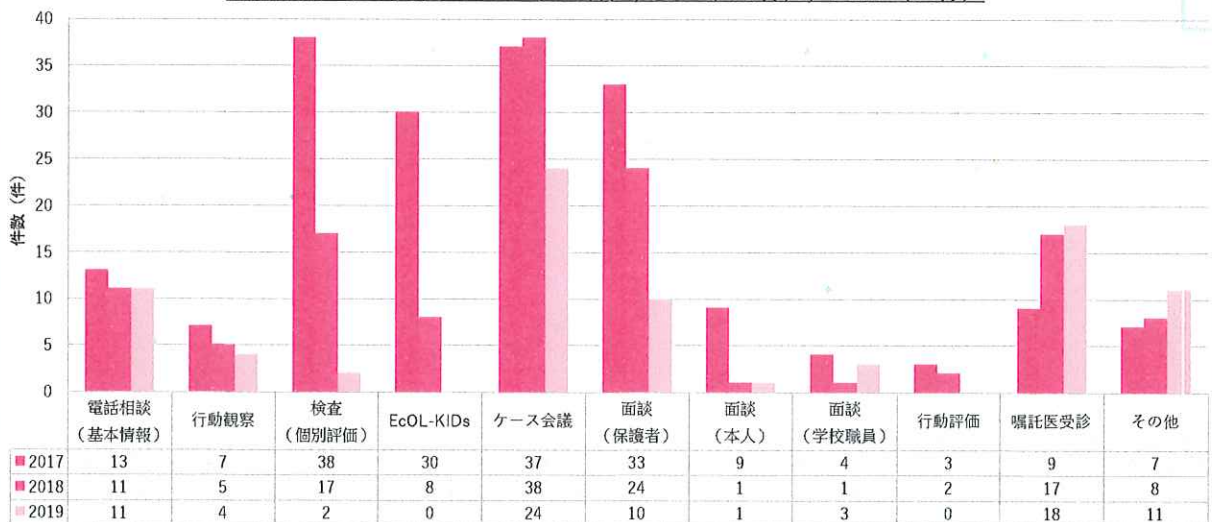
2019年度の実施報告 (対応)

対応分類 2019 (84件)



2019年度の実施報告 (対応)

対応分類 経年変化 2017 (190件), 2018 (132件), 2019 (84件)



精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について

令和元年の自立支援ネットワーク全体会で精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について、自立支援ネットワーク全体会を「協議の場」と位置付けることに決まりました。

しかし、年に1回の開催ということもあり、地域生活支援のニーズや課題の整理を行うのは、困難であると思われるため、現在毎月1回、基幹相談支援センター職員、嘉穂鞍手保健福祉環境事務所の保健師、市町村職員、精神科病院のソーシャルワーカーが参加して行われている、精神保健福祉関係者会議（Pミーティング）を、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムのニーズや課題の整理、具体的な事例等を検討する場とし、その会議の3ヶ月に1回（年4回）程度を、今年度は専門部会設置へ向けての準備会として構成員等の検討を行い、来年度を目途に専門部会を設置するということを提案します。

準備会・専門部会で検討した内容について、自立支援ネットワーク全体会で共有、協議等していくということも併せて提案します。

（嘉麻市・桂川町第5期障害福祉計画抜粋）

2 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神病床における長期入院患者の地域生活への移行をすすめていくためには、精神科病院や地域相談支援を行う事業所などによる努力だけでは限界があり、市や関係行政機関を中心とした地域精神保健医療福祉の一体的な取り組みの推進に加え、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる社会の実現に向けた取り組みの推進が必要になります。このようなことから、精神障がいのある人が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障がいのある人の支援にも対応した地域包括ケアシステムの構築をすすめることが大切になります。

嘉麻市・桂川町では、平成32年度末までに、飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワークによる協議の場を設け、必要に応じて専門部会の設置について検討します。なお、協議の場においては、圏域内の関係機関と連携し、精神障がいのある人への地域生活支援のニーズや課題を整理し、地域移行の推進に努めます。

（飯塚市第5期障害福祉計画抜粋）

2 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

（1）基本的な考え方

精神科病院における長期入院患者の地域生活への移行を進めていくためには、市町村を中心とした地域精神保健医療福祉の一体的な取り組みの推進に加え、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる社会の実現に向けた取り組みの推進が必要です。

これを踏まえ、精神障がい者が、地域の一員として安心して自分らしく暮らすことができるよう、精神障がい（発達障害及び高次脳機能障害を含む。）にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めることが、国の基本指針において示されています。

（2）国の指針（目標値設定にあたっての指針）

協議の場の設置	2020年度末までにすべての市町村ごと、または複数市町村による共同設置による協議会やその専門部会など保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置することを基本とする。
---------	--

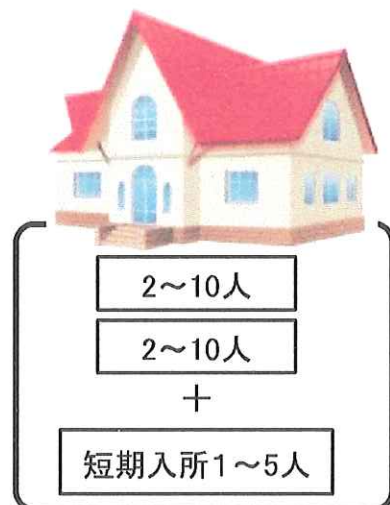
（3）本市における成果目標

国の指針を踏まえ、計画期間内に、飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク（以下、自立支援ネットワークという。）による協議の場を設け、必要に応じて専門部会の設置について検討します。なお、協議の場においては、圏域内の関係機関と連携し、精神障がい者への地域生活支援のニーズや課題を整理し、地域移行の推進に努めます。

- 障害者の重度化・高齢化に対応できる共同生活援助の新たな類型として、「日中サービス支援型共同生活援助」（以下「日中サービス支援型」という。）を創設。
- 日中サービス支援型の報酬については、重度の障害者等に対して常時の支援体制を確保することを基本とする。なお、利用者が他の日中活動サービスを利用することを妨げることがないような仕組みとする。
- 従来の共同生活援助よりも手厚い世話人の配置とするため、最低基準の5：1をベースに、4：1及び3：1の基本報酬を設定。

- 日中サービス支援型共同生活援助（1日につき）
 - ・ 日中サービス支援型共同生活援助サービス費（I）
 - ※ 世話人の配置が3:1の場合
 - (1) 区分6 1,098単位
 - ： ：

※ このほか、看護職員を常勤換算で1名以上配置した場合の加算を創設（看護職員配置加算 70単位/日）



- 住まいの場であるグループホームの特性（生活単位であるユニットの定員等）は従来どおり維持しつつ、スケールメリットを生かした重度障害者への支援を可能とするため、1つの建物への入居を20名まで認めた新たなタイプのグループホーム。
- 地域における重度障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供するため、短期入所の併設を必置とする。

地域生活支援の中核的な役割を担う日中サービス支援型グループホームの創設

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定により創設される「日中サービス支援型グループホーム」は、障害者の重度化・高齢化に対応するために創設された共同生活援助の新たな類型であり、短期入所を併設し地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待される。

